

# 外国語活動学習指導案

学校名 東広島市立板城小学校

指導者 T1 教諭 品川 妙子

T2 ALT Kimberley Sequeira

**単元名** Unit9 Who is your hero? ( We Can! 1 )

**日 時** 平成30年11月28日(水)

**学 年** 第6学年3組 男子16名 女子12名

## 1 単元について

### 【単元観】

- ・本単元は、あこがれの人や尊敬している人について伝え合う言語活動を通して、できることや得意なことを尋ねたり伝えたりする表現に慣れ親しみ、それらの表現を書き写し、紹介し合うことをねらいとしている。  
本単元では、扱う「Hero」を学級の友達とし、ALTや友達に、My hero (友達) のことを知ってもらうために紹介し合うことを最終ゴールとして設定している。また、慣れ親しんだ表現を使って「My hero ボード」を作成する。この活動を通して、児童は友達のことを知ることの喜び、みんなに紹介する楽しさを感じることができると考える。
- ・本単元では、“can” や “be good at” などの表現を用いて、自分やあこがれの人、尊敬している人について伝える表現を扱う。また、“gentle” や “cool” など、その人の様子を表す形容詞も併せて取り扱う。これらの表現を知ること、自分のことや他の人物について意欲的に紹介する活動に取り組むことができると考える。

### 【児童観】

- ・本学級の児童は、これまでに、自己紹介、誕生日、できること、一日の生活、夏休みの思い出、道案内、私の好きな町について学習している。ジングルやチャンツ、ゲーム等を通して、語彙を増やし、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんできた。
- ・9月に行ったアンケートでは、「小学校での英語の勉強は将来役に立つと思う」等の意欲に関する項目において、肯定的に回答した児童は97.6%だった。意欲的に学習に取り組んでいる児童が多いが、「やり取りする時に、反応したり既習表現を使ったりしている」という項目において、否定的な回答した児童もおり、やり取りする際に、その場で反応するのが難しいと感じていることが考えられる。書くことに関するレディネステストでは、正しく名前を書くことができる児童が81.5%、アルファベットを四線上に正しく書ける児童が、大文字は81.5%、小文字は63.0%であった。また、アルファベットの大文字と小文字の区別ができる児童が85.2%であった。大文字と小文字の区別はできるものの、小文字については四線のどの位置に書くかということに課題があると考えられる。

### 【指導観】

- ・児童が見通しをもって活動できるようにするために、本単元の学習計画を掲示する。
- ・友達のできることや得意なことを紹介したいという気持ちをもたせるために、導入やスモールトークで学校の先生等の紹介を取り入れる。また、友達のことを紹介する活動に必然性をもたせるために、ALTや友達にMy hero (友達) のことを知ってもらうために活動するという単元のゴールを共有し、ゴールに向けてどのような学習をしたらよいかを考えさせる。
- ・児童が自信をもって尋ねたり答えたりする活動に取り組めるようにするために、単元前半では「聞くこと」を中心とした活動、単元後半では「話すこと」を中心とした活動を取り入れ、表現に慣れ親しませる。
- ・発話に自信がもてない児童が安心してやり取りできるようにするために、指導者と児童、児童同士でのやり取りの活動を多く取り入れる。また、指導者が積極的に英語を使おうとしたり、賞賛や励ましの言葉かけや支援をしたりすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気をつくる。
- ・書く活動に取り組む際には、相手意識をもたせて丁寧に活動に取り組ませるために、書くときのきまりを自分でチェックできる欄を設ける。また、四線を意識できるように、掲示するカードやワードリスト等も単語を四線上に書いたものを準備する。

## 2 単元目標

【コ】進んで、あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて紹介し合おうとする。

【慣】・自分や第三者ができることや得意なことなどを表す表現に慣れ親しむ。

・相手を意識して、文を選んだり整理したりし、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。

【気】・文を書くときのきまりに気付く。

・「できること、得意なこと」の表現の違いに気付く。

## 3 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 進んで、あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて紹介し合おうとしている。	① 自分や第三者ができることや得意なことなどを表す表現に慣れ親しんでいる。 ② 相手を意識して、文を選んだり整理したりして、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しんでいる。	① 文を書くときのきまりに気付いている。 ② 「できること、得意なこと」の表現の違いに気付いている。

## 4 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	ALT や友達に、My hero (友達) について知ってもらうために、『My hero ボード』を作って紹介する。
めざす発話例	Hello. My hero is ○○. He can play soccer. He is good at kicking a ball. He is nice. He is my hero.

## 5 言語材料（下線は新出表現、語彙）

主な表現	主な語彙
Can you ~? I can ~. <u>Who is your hero?</u> <u>My hero is ~.</u> He / She can ~. <u>He / She is good at ~.</u> He / She is ~.	動きを表す語 play(playing) the piano, play(playing) baseball, do(doing) kendo, swim(swimming), skate(skating), cook(cooking), sing(singing), ride(riding) a unicycle, dance(dancing), jump(jumping) rope など 自分の意見を表す語 friendly, cool, funny, nice, active, kind, great, gentle, cute

## 6 単元計画

時	目標 (◇) と主な活動	評価規準・評価方法
1	◇単元終末の活動を知り、単元の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ALT の先生や友達に、My hero (友達) について知ってもらうために、『My hero ボード』を作って紹介する。                 </div> 【Small Talk】先生にとっての My hero 【Activity】できることを尋ねたり答えたりしよう。	【コ①】 ・進んで、自分のできることを伝えようとしている。  行動観察、振り返りカード
2	◇できることを表す表現を使って、My hero (友達) について話したり、書き写したりする。 【Small Talk】先生にとっての My hero ができること 【Let's Chant】Who is your hero? 【Activity】友達のできることを伝え合おう。  <めざす発話例> B: Who is your hero? A: My hero is ○○. She can sing well. She can cook. Who is your hero? B: My hero is ○○. He can play soccer. He can play <i>kendama</i> .	【コ①・気①】 ・進んで、友達のことを伝え合おうとしている。 ・文を書くときのきまりに気付いている。  行動観察、ワークシート 振り返りカード
3	◇得意なことを表す表現を知り、My hero (友達) について話したり、書き写したりする。 【Small Talk】先生のできること 【Let's Listen 1】登場人物が、何が得意かを聞いて線で結ぼう。  <めざす発話例> B: Who is your hero? A: My hero is ○○. She is good at playing the piano. She is good at dancing. Who is your hero? B: My hero is ○○. He is good at cooking. He is good at kicking a ball.	【慣①、気②】 ・友達のできることや得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。 ・「できること、得意なこと」の表現の違いに気付いている。  行動観察、ワークシート 振り返りカード
4 (本時)	◇My hero (友達) について紹介したいことを選び、伝え合ったり、書き写したりする。 【Small Talk】先生のできること、得意なこと 【Activity】紹介したいことを選んで伝え合う。  <めざす発話例> B: Who is your hero? A: My hero is ○○. She can sing well. She is good at playing the piano. B: Really? That's nice. A: Who is your hero? B: My hero is ○○. He can play soccer. He is good at kicking a ball. A: I see. That's great.	【慣①、慣②】 ・友達のできることや得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。 ・相手を意識して、文を選んだり整理したりして、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しんでいる。  行動観察、ワークシート 振り返りカード

5	◇My hero (友達) について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合ったり、書き写したりする。 【Small Talk】先生のできること、得意なこと 【Let's Listen 2】ひかりの家族が、何が得意かを聞いて線で結ぼう。	【慣①, 慣②】 ・自分の考えや気持ちを表す表現に慣れ親しんでいる。 ・友達に対する自分の考えや気持ちを書くことに慣れ親しんでいる。  行動観察, ワークシート, 振り返りカード
	〈めざす発話例〉 B: Who is your hero? A: My hero is ○○. She can sing well. She is good at playing the piano. She is nice. B: I see. That's nice. A: Who is your hero? B: My hero is ○○. He can play soccer. He is good at kicking a ball. He is cool. A: I see. That's great.	
6	◇My hero (友達) について紹介する。 【Let's Listen 5】登場人物の話聞いて、分かったことを口にも書こう。 【Activity】My hero (友達) のできること、得意なことを紹介し合う。	【コ①】 ・進んで、My hero (友達) について紹介し合おうとしている。  行動観察, 振り返りカード
	〈めざす発話例〉 Hello. My hero is ○○. He can play soccer. He is good at kicking a ball. He is nice. He is my hero.	

## 7 本時の計画

- (1) 目標 My hero (友達) について紹介したいことを選び、伝え合ったり書き写したりする。
- (2) 評価規準 【慣】①友達のできることや得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。  
②相手を意識して、文を選んだり整理したりして、文を書くことに慣れ親しんでいる。
- (3) 準備物 デジタル教材, 絵カード, ワークシート, 振り返りカード
- (4) 展開

	学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点 ◎評価規準
		T1	T2 (ALT)	
つかむ・見通す	1 【Greeting】 あいさつをする。		Hello, everyone. How are you? What is the date today? What day is it today? How is the weather today?	・目と目を合わせてあいさつし、気持ちよく学習が始められるようにする。  ・懐中電灯を動かす表現 (上下左右) を使わせる。
	2 【Let's Listen and Write】 アルファベット文字当て 懐中電灯	Look at the screen and guess alphabets.		

<p>3 【Small Talk】 先生について、やり取りをする。</p>	<p>T2: Who is your hero in Itaki Elementary School? T1: My hero is Mr. Hirata. He can play basketball. He is good at throwing. T2: Really? That's nice. T1: Who is your hero in your Australian school? T2: My hero is Ms. Hana. She can run fast. She is good at playing soccer. T1: I see. That's great.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に行ったやり取りを扱うことで、表現を復習するとともに、定着を図る。</li> <li>・抑揚を付けたり、ジェスチャーを付けたりしながら話をする。</li> <li>・繰り返す、反応するなどして、会話しやすい雰囲気を示す。</li> </ul>
<p>4 【Today's goal】</p>	<p>Let's talk in pairs. やり取りをしながら、表現に慣れ親しませる。</p> <p>Let's read "Today's goal" together.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のゴールに注目させ、既習事項をふり返りながら、めあてを確認する。</li> </ul>
<p>みんなに紹介したいことを選んで伝えよう。</p>		
<p>5 紹介したいことを選ぶとき、どのようなものを選ぶとよいかを出し合う。</p>		
<p>6 【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでやり取りをする。</li> <li>・反応しながら、話を続ける。</li> <li>・ペアをかえてやり取りする。</li> </ul>	<p>&lt;めざす子どもの発話&gt; S2: Who is your hero? S1: My hero is ○○. She can play the recorder. She is good at playing the piano. S2: I see. That's nice. S1: Who is your hero? S2: My hero is ○○. He can play baseball. He is good at hitting a ball. S1: I see. That's great.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「繰り返す」「反応する」「聞き返す」などの反応の仕方を示す。</li> </ul> <p>◎友達のできることや得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。[慣①]</p>

表す

振り 返 る	7 【Let's Read and Write】 できること、得意なことを 選んで、書き写す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">         He can play baseball.          He is good at hitting a ball.       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を意識して、丁寧 に書かせる。</li> <li>・書き終わったら、文 をチェックさせたり、読 ませたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りした表現か らできること、得意 なことについて、書 き写させる。</li> <li>・相手を意識して、読 みやすく丁寧に書 くよう声をかける。</li> </ul> ◎相手を意識して、文 を選んだり整理した りして、例を参考に 紹介する文を書くこ とに慣れ親しんでい る。[慣②]	
	8 【Reflection】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに沿って、今 日の学習をふり返ら せる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの文の内容がつながっている から、分かりやすい。</li> <li>・選んだ内容に相手が驚いていたの で、早くみんなに紹介したい。</li> </ul> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が意欲的に取り 組んでいたことを評 価する。</li> </ul>
	9 【Greeting】 あいさつをする。	Thank you, class. Good bye, everyone. See you.		

## 8 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">Today's</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         みんなに紹介したい ことを選んで伝えよ う。       </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <u>やり取りの表現</u>          S2: Who is your hero?          S1: My hero is Mr. Hirata.                He can play basketball.                He is good at throwing.          S2: I see. That's nice.       </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <u>選ぶ理由</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが知らないと思うこと</li> <li>・私がすごいと思ったこと</li> <li>・その人のことが良く分かること</li> <li>・やり取りしたとき、相手が驚いてい たこと</li> <li>・2つの文の内容が関連していること</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">November</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">28th</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Wednesday</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">天気</div>
---	---	---	---